

第9回ユース部全国代表者会議開催

平成26年9月13日(土)から14日(日)にかけて、第9回ユース部全国代表者会議を東京都港区の友愛会館にて開催しました。第8回の会議とは違う顔ぶれもあり17名の参加がありました。

まずは友愛労働歴史館の間宮事務局長に労働運動の歴史について講義をいただき、戦前の労働組合の誕生から現在までの結成や分裂を時系列で学びました。友愛会の流れを汲む労働組合は、①労働者の経済的地位向上、②相互扶助、③一人ひとりの労働者の人間的成長、の3つを重視してきており、単なる賃上げ団体でなく、レクリエーション(Recreation 再創造)によりリーダーシップを養い、資質を向上させる活動を多く行ってきたことが紹介され、特に③一人ひとりの労働者の人間的成長という部分には、多くの参加者が深い理解を示していました。

講義後、さらに労働組合の歴史についての知識を深めるため、友愛労働歴史館の常設展「日本労働運動の100年余」と、今月から行われている企画展「同盟結成から50年、その今日的意義を探る」を見学しました。それぞれの時代の活動の様子や書物等を拝見し、脈々と受け継がれてきた理念を感じ取ることができたと思います。

次に、研修その1として、先の講義や資料展示見学を受け、その内容を共有するため、4つのグループに分かれてグループワークを行いました。単組状況がそれぞれ違う中で、感じ取った点や重要だと思った点は様々であり、グループ代表による発表では、「どう単組のユース世代に伝えるか」について、レクリエーションや勉強会を通じて伝えていくことが最も効果的との意見が多くあり、各単組での活動に反映されていくことを期待します。

2日目は、研修その2として、「プレゼンテーション」を行いました。これからのユース世代に求められる能力やその習得のために必要な活動等について各自がプレゼンテーションを行うという内容でした。具体的には、ユース世代に必要な能力は何か、今後はこういった研修を行いたいかについてであり、参加者全員に発表をしていただきました。

人前で自分の意見を述べるという経験、今後の研修内容を企画・立案するという経験が得られたのではないかと思います。

また、今回はグループワークの進行や懇親会の段取りについて、八代市とえびの市の参加者に世話役として助力をいただきました。こういった経験の積み重ねも、これからの組合活動を担うユース世代の方々にはプラスになると感じたいです。

今後もユース世代を盛り上げていきますので、皆様の応援をよろしくお願いいたします。



自治労連 単組定期大会紹介

玉野市役所職員組合 第54回玉野市役所職員組合定期大会

平成26年5月23日、第54回玉野市役所職員組合定期大会を、市役所大会議室にて開催しました。

大前和紀執行委員長は冒頭の挨拶の中で、組合が交渉で獲得した案件については、組合員の有無を問わず、全職員に反映されるわけであり、やはり職員皆が加入して活動することに意義があるのだと、組織の拡大に力を入れて行きたいと述べました。

組合員数が減少し財政状況も大変厳しい中、今後も活動を継続・向上できるように、現在の活動内容や組合費など「組合の存在意義や在り方」を一から見直しており「全員が納得し積極的に参加できる環境づくり」に重点を置いた活動に取り組んでいます。



全北区職員連絡協議会 第30回定期総会

7月25日、北区北とびあにおいて、多数の組合員の方々の参加のもと「全北区職員連絡協議会第30回定期総会」が開催されました。

岩田議長の挨拶で始まった定期総会は、来賓に花川與惣太北区長をお招きし、ご挨拶を頂戴したのち、活発な質疑応答により組織内の理解を深め、すべての議案が満場一致で可決・承認されました。

運動方針案では、山口幹事長が、北区内での取り組みとして、組合員の方々一人ひとりに丁寧に対応することを心がけ、信頼関係を深めることを意識しながら取り組むという、全連協の特徴を活かした活動をしていくことを約束しました。今回から組合員のニーズに合わせるよう、内容を大きく変更し、具体的でわかりやすくなった議案書を基に、一年間の当局からの提案内容や、全連協の活動内容を説明し、すべての議案が、満場一致で可決されました。

今後も、自治労連の理念でもある「住民目線」を大切にしたい活動をしてまいりますので、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



熊本市役所第一職員労働組合 第49回定期大会

熊本市役所第一職員労働組合では、平成26年7月25日、市民会館崇城大学ホールにおいて約100名の代議員と多数の来賓の出席のもと、第49回定期大会を開催しました。

国の公務員制度改革と地方自治体の行財政改革が推し進められる中、政令指定都市移行による業務量の増大と、人員削減による慢性的な長時間の超過勤務は一層深刻化しています。また、それに伴い心身の不調を訴える職員も増えており、より質の高い市民サービスを提供しつつも、職場環境の悪化に歯止めをかける活動を展開していかなければなりません。大会ではそのための活動方針と予算が満場一致で承認され、執行部と組合員が一致団結して頑張っていくことを確認しました。

公務員に対する市民の厳しい眼が注がれる中、第一職員労働組合では、自治労連の理念に基づいた組合活動を行いますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



西都市役所職員組合 第43回定期大会

西都市役所職員組合は、去る8月22日（金）に市内のホテルにおいて、平成26年度第43回定期大会を開催いたしました。

7月下旬の役員改選において、窪田栄美委員長の続投が承認され、2年目を迎えた幸いです。

昨年度の活動経過報告並びに決算報告、新年度の活動方針案並びに収支予算案など、すべての議案が満場一致で承認されました。

我々を取り巻く状況は依然として厳しいものではありませんが、少数ながら若手組合員の加入もあり、これからの期待が持てる吉事となりました。

これを機に、新執行部体制で今後も頑張りたいと思います。

末筆ながら、ご来賓としてご臨席賜りました松葉書記長を始め、皆様から頂戴しました多数のご祝辞に対しまして、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。



友愛会創立を記念する会開催

8月1日、港区の友愛会館において、友愛会創立を記念する会が開催されました。日本労働運動の出発点、そして民主的労働運動の源流ともいべき友愛会創立の意義を顕彰し、会員相互の親睦と労働運動の発展に資するための活動を行っているのが「友愛会創立を記念する会」であり、2年前の創立100周年から行われている記念行事です。大正元年8月1日に鈴木文治氏らユニテリアン教会唯一館（設計：ジョサイア・コンドル）で友愛会を創立したことから、毎年8月1日を原則に開催されています。



冒頭、5月8日に亡くなられた公益財団法人富士社会教育センター前理事長の大松明則様他、過去一年間にお亡くなりになられた友愛会の諸先輩方に黙祷を捧げました。

その後、服部光朗会長の挨拶があり、来賓に連合会長古賀申明氏、民社協会会長衆議院議員高木義明氏、政策研究フォーラム理事長谷藤悦史氏らをお招きし、それぞれご挨拶をされました。「昔の仲間」ならではの遠慮のない来賓の祝辞は、出席した関係者の表情を終始和やかにしてくれました。

自治労連との関わりが深かった公益財団法人富士社会教育センター大松明則前理事長に深く追悼の意を申し上げます、心よりご冥福をお祈り申し上げます。これからも自治労連は「大松精神」を継承し、「自由にして民主的な労働運動」を推進してまいります。

★★★ お待ちしています ★★★

各単組でぜひ載せてもらいたい！！という記事がありましたら連絡をお待ちしています。

記事や写真はこちらまで → 周南市役所職員組合
Email:shunan-city@jichirouren.jp

～ ふりーじあちょこっとメモ ～
今回のふりーじあの帯は周南市のコンビナートと夕焼けを背景にしてみました。
各地域で季節感ある写真があれば是非、上記まで送ってください。
ひょっとしたら、ふりーじあに採用されるかも！？

全国のみなさんからの情報お待ちしております！！（自治労連教宣部）